

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
家事支援技術Ⅱ Housekeeping Support Technology		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修 ()		
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
生活技術論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
担当に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
阿部芳子	社会福祉棟・3F	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
自立に向けた家事の介護の仕方を学ぶ。生活支援としての衣服の洗濯、寝具の管理、掃除、ゴミ捨てや買い物、家庭の経営や管理など、基本的な生活運営ができるよう技術を体得する。				
授業の目標				
基本的な生活運営がスムーズにできるよう、また利用者の状況に応じた介助支援ができるようにする。				
授業の方法				
テーマに沿って、実習・実技と知識で、より家事支援技術の実践・応用力をつける。				
学習の成果（学習成果）				
利用者の状況に応じた介護支援がスムーズにできることが、実践の場で求められるため、細かな支援に気づき、行動できるよう、作品制作や、発表をとおして、考え方を共有し今後の支援の応用力を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	衣類・寝具の衛生管理①			
第2回目	衣類・寝具の衛生管理②			
第3回目	衣類の汚れ落とし			
第4回目	洗濯の方法、素材別、洗剤の種類、乾燥の仕方、			
第5回目	衣類の補修、衣類の保管			
第6回目	障害者別、衣類のリフォームの製作			

第7回目	高齢者居室の掃除・注意点、掃除のしかた	
第8回目	ゴミ捨て、分別・エコライフ	
第9回目	買い物支援、家庭経営支援	
第10回目	家計管理/移動手段、支払い方法、購入方法	
第11回目	睡眠の介護・技術支援、補助マット利用	
第12回目	自立に向けた生活支援・安眠を促す介護、快適な寝床環境づくり (素材・間)	
第13回目	家事に参加することを支える介護、自立に向けた技術支援 ① (節季の室礼)	
第14回目	家事に参加することを支える介護、自立に向けた技術支援 ② (香・色彩)	
第15回目	安眠を促す支援、温熱効果、補助寝具、QOL向上のための支援 　　まとめ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	実習・実験・製作などの毎回異なる授業に、積極的に参加し取り組むことができたか。提出物の完成度は良いか。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容 (態度含む)	60%	学生自ら、創意工夫した個人製作品を発表しているか、支援の方法を共有し、家事支援技術の幅を広げることができるようにしているか。
その他	20%	実習・実験・製作品の提出物の完成度は丁寧であるか、期限内に提出されたか。
教科書と参考図書		
授業時に資料を配付する。 生活支援技術Ⅱ (中央法規) 1年次使用テキスト 最新 2014 生活ハンドブック (第1学習社)		
履修上の留意点・ルール		
毎時間授業内容が異なり、提出物があるので注意すること。		